

様式 4

平成 27 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 28 年 3 月 16 日

学 長 殿

所属部局・職名共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 塘 忠 頭

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (○学術出版・叢書・学会等) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	『裏磐梯・猪苗代地域の環境学』出版(1000部)
事業実施期間	平成28年3月10日発刊
成果の概要	<p>福島大学磐梯朝日遷移プロジェクト(正式名称:遷移途中にある自然環境を自然遺産として良好に保全するための研究モデルの策定-磐梯朝日国立公園の人間と自然環境系(生物多様性の保全)に関する研究-,文部科学省特別経費(プロジェクト)採択事業)による4年間の研究成果をまとめた書籍『裏磐梯・猪苗代地域の環境学』を平成28年3月10日に福島民報社から発刊した。本書籍はプロジェクトのメンバーやメンバーの研究室の学生・大学院生による論文20編(第1章:過去の試料画家たる古環境・古生態,第2章:人間と自然環境系の現状と実態,第3章:自然環境の変化に基づく将来予測)と裏磐梯・猪苗代地域の自然環境を維持・保全するための提言2編(第4章:人間と自然環境系の今後に向けて)からなる(総頁数は260頁)。</p> <p>本書籍に記された研究内容,例えば猪苗代湖の起源はこれまでに言われていた時代(4万2000年前)よりも遡り,約5万年前であること,裏磐梯地域の五色沼湖沼群の毘沙門沼や青沼などの青色色彩の原因は,従来言われていたアロフェンではなく,イモゴライトに類似した新規のケイ酸アルミニウム微粒子であること,は3月14日付けの地元紙(福島民報,福島民友)でも大きく取り上げられた。</p> <p>裏磐梯・猪苗代地域をはじめとする各地の自然環境の維持・保全,そしてそれらの活動の実践に本書籍を広く活用してもらうため,県内の環境関係分野の事業所,行政,県内外の環境関連団体・個人に配付した。さらに,本書籍に記された本プロジェクトの研究成果や提言を,火山地帯を伴う内陸部の自然環境を自然遺産として良好に保全するための研究モデルとして活用してもらうため,全国の国立大学図書館にも本書籍を配付した。なお,本書籍は福島民報社による市販(200部)も実施されている。</p>

裏磐梯・猪苗代地域の 環境学

Environmental Study in URABANDAI-INAWASHIRO Area

資料編
CD-ROM付

福島大学磐梯朝日遷移プロジェクト

塘 忠顕 編著

